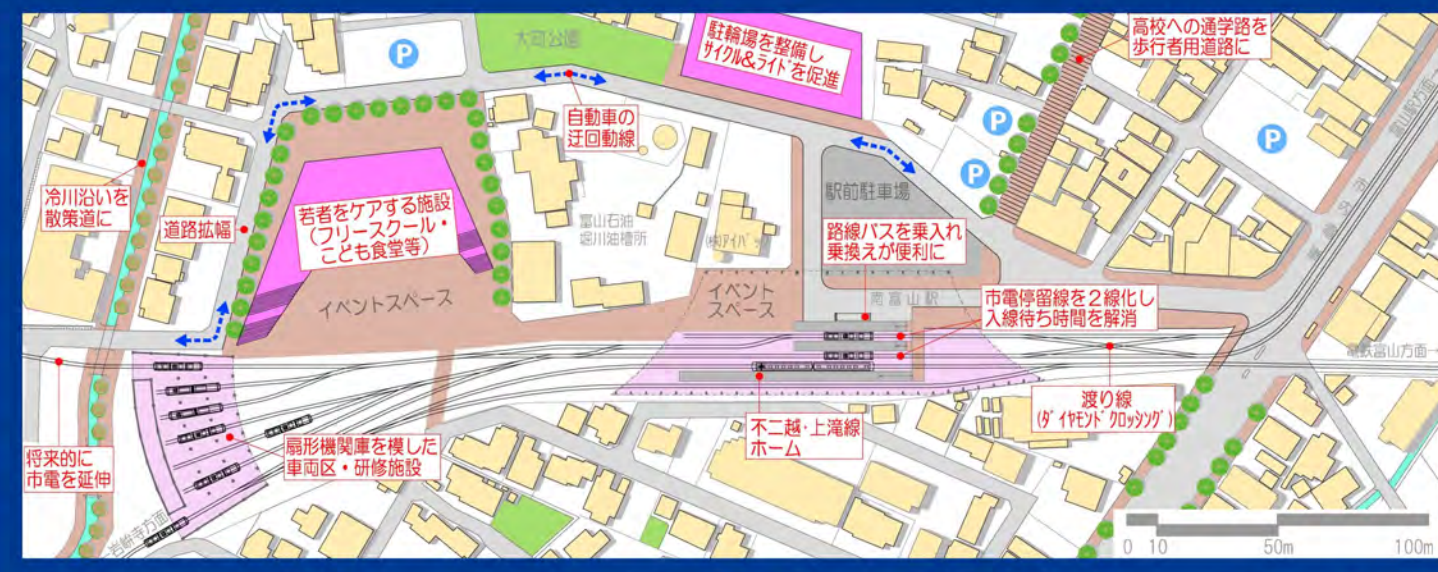
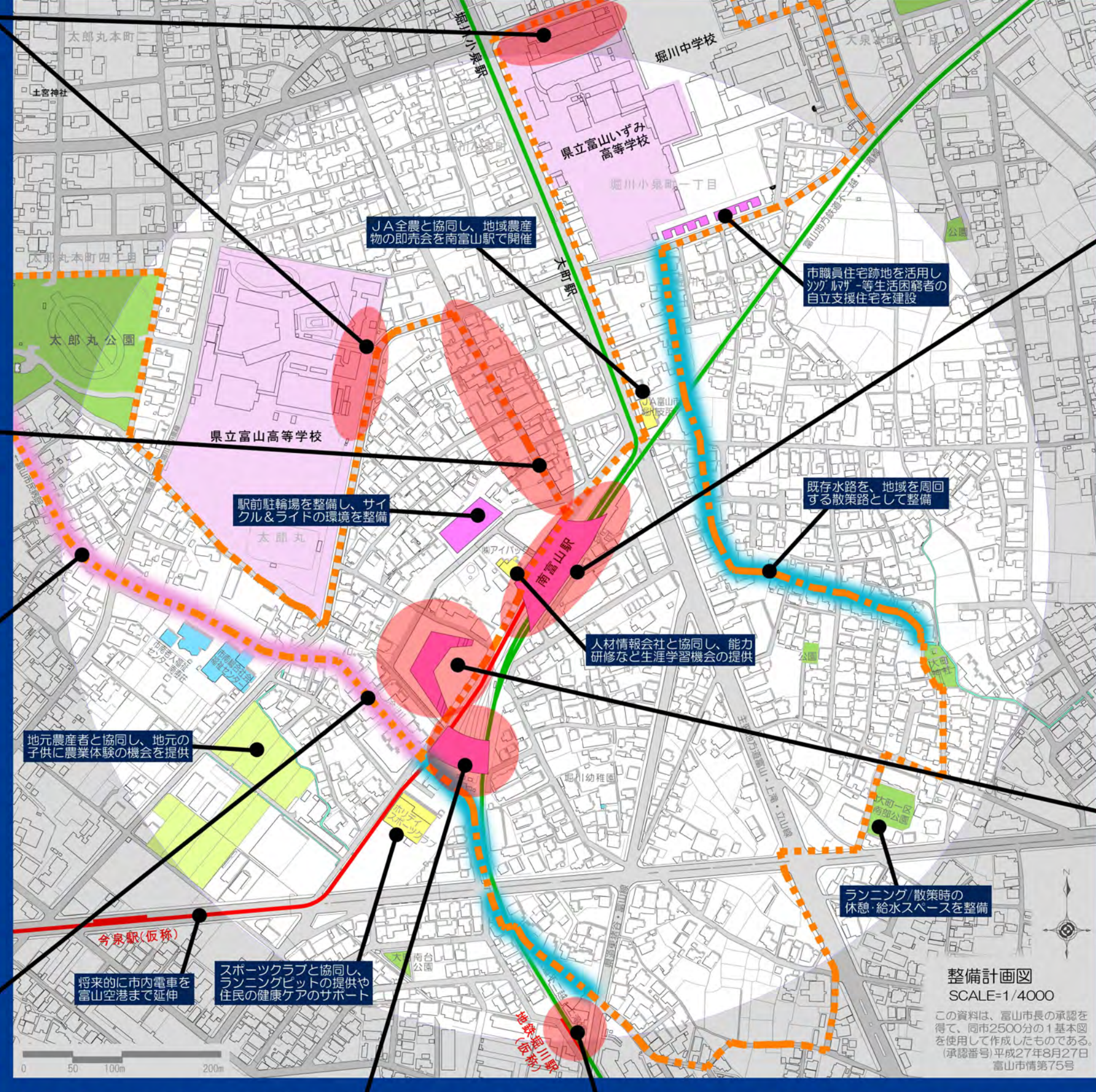




《高校を周辺住民に開かれた場所に》  
 校門周辺に住民も利用できるオープンスペースを設けます。  
 閉ざされがちな学校に地域とのつながりを提供する事は、生徒にも住民にとっても有益な考えです。  
 また、地域防災拠点となる学校に親しみを持ってもらう事で、災害時の迅速な避難と相互協力につながります。  
 ◀校門前で生徒と周辺住民とが交流できる(富山高校)



《南富山駅から高校への通学路整備》  
 市内電車が富山地铁の不二越・上滝線に乗入れた場合、通学に電車を利用し、南富山駅で下車する生徒が増えると考えられます。  
 現在、南富山駅と富山高校を結ぶ道路は幹線道路の渋滞をショートカットする抜け道に利用されており危険なため、車両通行を規制し通学に優しい道路として整備します。  
 ◀舗道整備と沿道植栽で、青春の1ページを飾る通学路に



《街路整備計画：凡例》  
 ■■■■■ ランニング/散策ルート  
 ■■■■■ 河川/水路を散策路として整備  
 ■■■■■ 河川沿いを桜並木道として整備



《街路整備計画：凡例》  
 ■■■■■ ランニング/散策ルート  
 ■■■■■ 河川/水路を散策路として整備  
 ■■■■■ 河川沿いを桜並木道として整備

